

現況分析における顕著な変化に
ついての説明書

教 育

平成22年6月

帯広畜産大学

目 次

1. 畜産学部

1

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育／研究)

法人名 帯広畜産大学

学部・研究科等名 畜産学部

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

質の向上度の事例名 「獣医・農畜産融合教育プログラムの編成と実施体制構築の事例」

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名

畜産学部は、平成 14 年以来、獣医学科と畜産科学科の 2 学科で構成してきた。平成 18～19 年度に学科制から課程制への変更、教員所属組織の一元化などの教育実施体制を整備するための検討を行い、平成 20 年度に学科制を廃し、獣医学課程及び畜産科学課程からなる課程制へと移行した。また、学部・研究科を教育組織として位置付け、一元的な教員所属組織である「研究域」を設置して、研究域所属の教員は、本学の獣医・農畜産融合の教育研究を推進するとともに、学士・修士・博士の各課程教育を充実させた。この改組により、ユニットを改編し、各ユニットにおいて「獣医・農畜産融合教育」が展開可能なカリキュラムに変更し、「獣医・農畜産融合の教育」を推進する実施体制の構築による、獣医学分野と畜産学分野の知識の相互補完を実現する全教員参加型の教育プログラムとあわせ、「食の安全」に対する専門職業人育成の体制を整備した。

(資料 1 参照)

